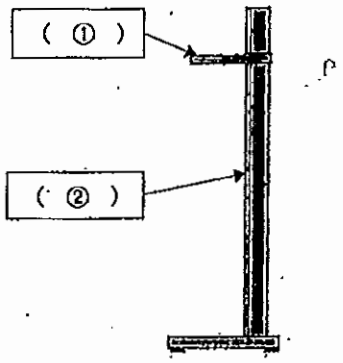
検　査	学　校　種　別	教科・科目	枚　目
第1次	養　護		1／5

〔解答はすべて4／5、5／5の解答用紙に記入せよ。〕

1　「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会　文部科省スポーツ・青少年局学校健康教育課　監修）」に示されている健康診断の方法、技術的基準及び評価について、次の各問いに答えよ。

（1）下の図は、身長の測定に用いる身長計の構造を表したものである。また、表は、身長の測定の実際についてまとめたものである。図の（　①　）、（　②　）の名称を答えよ。また、表中の（　A　）～（　G　）に当てはまる語句を答えよ。ただし、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

図



表

準　備	身長の測定は、身長計を用いて行う。 事前に（　②　）は（　A　）されているか、（　①　）は滑らかに動くか点検しておく。 測定場所は、（　B　）な床を選び、（　②　）が（　C　）に立つことを確認する。
方　法	1　測定の際は必ず（　D　）で行う。 2　身長計の踏み台に上がらせ、両かかとをよくつけて直立させる。 3　（　②　）には、両かかと、臀部、（　E　）の一部が触れた状態とする。 4　上肢は（　F　）に垂れさせる。 5　頭位を正位（眼耳水平位）に保つため、軽く（　G　）を引かせる。

（2）次の文は、成長曲線等を描くことの意義について示された文の抜粋である。次の（　①　）～（　⑥　）に当てはまる適切な語句を下の【語群】ア～シから選び答えよ。ただし、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

成長曲線等を描くことの意義

・一人一人の児童生徒等特有の（　①　）を評価できる。
・「肥満」や「（　②　）」といった栄養状態の変化、それに加えて（　③　）、高身長、特に（　④　）といって一時的に身長の伸びがよく、児童生徒等本人や保護者も（　⑤　）身長のことを喜んでいると、早期に身長の伸びが止まって、最終的には極端な（　③　）になるといった病気等を早期に見つけることができる。
・成長曲線パターンの変化は目で見て分かるので、児童生徒等及び保護者がその（　⑥　）を容易に理解できる。
・成長曲線と肥満度曲線を併せ用いることで、肥満や（　②　）の状態を分かりやすく評価できる。

【語群】

ア　急速に伸びる	イ　低体重	ウ　保健調査票	エ　変化の様子	オ　人より高い	カ　性早熟症
キ　やせ	ク　成長期	ケ　低身長	コ　成長特性	サ　性遅発症	シ　肥満度

（3）次の文は、肥満の分類について示した部分をまとめたものである。次の（　①　）～（　③　）に当てはまる適切な語句を答えよ。ただし、同じ番号には同じ語句が入るものとする。※成長曲線基準図の基準線と基準線の間をチャンネルと呼ぶ。

・成長曲線に基づいて、肥満を（　①　）的肥満、（　②　）性肥満、（　③　）性肥満に分類することができる。
・成長曲線と肥満度曲線がチャンネルに沿っているものは、（　①　）的肥満である。
・体重成長曲線がチャンネルを横切って上向きになっているが、身長成長曲線がチャンネルに沿っているものは、（　②　）性肥満である。
・身長成長曲線がチャンネルを横切って下向きになっているにもかかわらず、体重成長曲線が上向きになっているものは、（　③　）性肥満である。

2　次の表は「学校保健安全法施行規則第19条」に示されている感染症名と出席停止の期間についてまとめたものである。（　A　）～（　K　）に入る適切な語句又は漢数字を答えよ。

感染症名	出席停止の期間
インフルエンザ （鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	発症した後（　D　）日を経過し、かつ、解熱した後（　E　）日（幼児にあつては、三日）を経過するまで。
新型コロナウイルス感染症	発症した後（　F　）日を経過し、かつ、症状が軽快した後（　G　）日を経過するまで。
（　A　）	解熱した後三日を経過するまで。
（　B　）	発しんが消失するまで。
水　痘	すべての発しんが（　H　）するまで。
流行性耳下腺炎	耳下腺、（　I　）腺又は舌下腺の腫脹が発現した後（　J　）日を経過し、かつ、（　K　）が良好になるまで。
（　C　）	主要症状が消退した後二日を経過するまで。

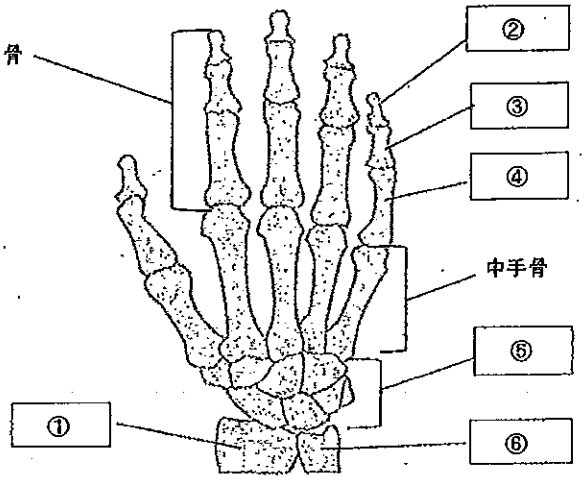
検　査	学　校　種　別	教科・科目	枚　目
第1次	養　護		2／5

〔解答はすべて4／5、5／5の解答用紙に記入せよ。〕

3　手の骨について、次の各問いに答えよ。

（1）次の図は、右手の骨格図である。（　①　）～（　⑥　）に当てはまる名称を記入せよ。

図



（2）手のひらをついて転び、手首に強い痛みを訴えて保健室に来室した児童生徒に対し、養護教諭が行う観察や処置について、次の各問いに答えよ。

①　この児童生徒にショック症状が認められる場合、骨折を疑い医療機関への搬送を判断する必要がある。骨折の際にみられる特徴的なショック症状を5つ答えよ。

②　次の各文で、養護教諭が行う観察や処置として正しいものには○を、誤っているものには×を付けよ。

A　わずかな腫れも見逃さないよう、左右の手を比較してしっかり観察する。

B　触診は、まず患部と思われる部位に示指をもって軽く圧迫していく。

C　他動運動検査を行う際は、痛いほうの手を持って、静かに色々な方向に動かして痛みの有無を確認する。

D　三角巾で腕を吊る際は、手掌を上にし、肘より指が高位になるような角度にする。

4　次の表は、「子どもの心のケアのために－災害や事件・事故発生時を中心に－（平成22年7月）文部科学省」から自然災害時の心のケアに関する養護教諭の役割を抜粋したものである。次の（A）～（G）に当てはまる適切な語句を下の【語群】ア～ツから選び答えよ。ただし、同じ記号には同じ語句が入るものとする。

表

	災害から学校再開まで	学校再開から1週間まで	再開1週間後から6か月
	安否確認・（A）の把握と組織体制の確立	心身の（A）の把握と支援活動	中・長期的な心のケア
基本的な実施事項	① 安否の確認と心身の（A）の把握 ・家庭訪問、避難所訪問 ・（B）の強化 ・教職員間での（C）の共有 ・担任等との連携等 ② （D）の状況確認と整備 ③ 管理職との連携 ④ 学校医、学校薬剤師との連携 ⑤ 心のケアに関する啓発資料の準備 ☆ 障害や慢性疾患のある子どもへの対応	① 心身の（A）の把握 ・（B）の強化 ・心のケアの質問紙調査、相談希望調査等 ・教職員間での（C）の共有 ② （E）等の啓発資料の配布 ③ 管理職との連携 ④ 心のケアに関する保健指導の実施 ⑤ 健康相談の実施 ⑥ 学校医、（F）、専門機関等との連携 ⑦ （G）の予防対策 ☆ 障害や慢性疾患のある子どもへの対応	① 心身の（A）の把握 ・（B）の強化 ・心のケアの質問紙調査、相談希望調査等 ・教職員間での（C）の共有 ② 心のケアの継続支援・校内組織との連携 ③ （E）等の啓発資料の配布 ④ 心のケアに関する保健指導の実施 ⑤ 健康相談の実施 ⑥ 心のケアに関する校内研修の企画・実施 ⑦ 学校医、（F）、専門機関等との連携 ⑧ （G）の予防対策 ☆ 障害や慢性疾患のある子どもへの対応

【語群】

ア　学校歯科医	イ　生徒指導	ウ　肥満	エ　保健だより	オ　職員室	カ　コミュニケーション	
キ　う歯	ク　情報	ケ　保健室	コ　児童相談所	サ　口腔ケア	シ　家庭	ス　健康状態
セ　スクールカウンセラー		ソ　健康観察	タ　健康診断	チ　健康問題	ツ　感染症	

検　査	学　校　種　別	教科・科目	枚　目
第1次	養　　護		3／5

〔解答はすべて4／5、5／5の解答用紙に記入せよ。〕

5　「「生きる力」を育む学校での歯・口の健康づくり（令和元年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会）」について、次の各問いに答えよ。

（1）次の文は、むし歯発生のメカニズムについて示した部分をまとめたものである。（　①　）～（　⑦　）に当てはまる語句又は数字を答えよ。ただし、同じ番号には、同じ語句が入るものとする。

・歯の表面に付着した（　①　）菌が、口腔内に食物としてとられた（　②　）を利用し多糖を合成する。
・多糖は粘着性が強く、他の細菌を付着させて細菌の塊を作り上げる。この細菌の塊を（　③　）と呼ぶ。
・（　②　）を始めとした各種の糖類が（　③　）中に浸透し、（　④　）が作られる。
・（　③　）内の（　④　）の蓄積により、酸性度（ｐＨ）が5.5以下になると、（　⑤　）質が溶け始める。このことを（　⑥　）という。
・食事のたびに唾液の力などで酸性度（ｐＨ）は元に戻り、歯の表面は修復される。このことを（　⑦　）といい、この（　⑦　）と（　⑥　）のバランスが崩れ、（　⑥　）の方が大きくなると、歯の表面が溶け出してむし歯を起こす。

（2）次の文は、歯・口の外傷の応急処置について示した部分の抜粋である。（　①　）～（　⑥　）に当てはまる語句や数字を答えよ。ただし、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

> 歯の脱臼はできる限り早急に歯科医療機関で再植する。この際、（　①　）部を持つように注意し、（　②　）を持たないようにする。再植を可能とするには、（　②　）周囲の組織が必要なので、（　②　）には手を触れないことが原則となる。泥などで汚れた場合も洗いすぎない、こすらないようにする。また、（　③　）させたり（　④　）につけたりするとおおむね（　⑤　）分程度しか再植可能時間がないといわれる。直ちに対応できないときは（　③　）させないよう「市販の保存液」、あるいは「　⑥　」に保存して、可及的速やかに歯科医療機関を受診する。

（3）A中学校では、生徒140名が歯科検診を受け、結果は下記の表のとおりであった。この結果をもとに、一人平均ＤＭＦ歯数を答えよ。なお、回答欄には計算式を記し、ＤＭＦ歯数は少数第2位までを求めること。

表

乳歯処置歯数	25本	永久歯未処置歯数	24本
乳歯未処置歯数	13本	永久歯処置歯数	130本
乳歯要注意歯数	10本	う歯が原因の喪失歯数	6本

6　次の文は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引（令和3年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会）」から抜粋したものである。（　A　）～（　J　）に当てはまる適切な語句を答えよ。

（1）健康相談の目的

健康相談の目的は、児童生徒の（　A　）に関する課題について、児童生徒や（　B　）等に対して、関係者が連携し相談等を通して課題の解決を図り、（　C　）によりよく適応していけるように支援していくことである。

（　A　）課題を解決する過程で、自分自身で解決しようとする人間的な成長につながることから、健康の保持増進だけでなく（　D　）的意義が大きい。

（2）健康相談実施上の留意点

①　（　E　）に健康相談を位置付け、計画的に実施する。また、状況に応じて計画的に行われるものと（　F　）に行われるものとがある。

②　学校医・学校歯科医・学校薬剤師等の医療的見地から行う健康相談・保健指導の場合は、事前の打合せを十分に行い、相談の結果について養護教諭、学級担任等と（　G　）を図り、連携して支援を進めていくことが必要である。

③　健康相談の実施について周知を図るとともに、児童生徒、（　B　）等が相談しやすい（　H　）を整える。

④　相談場所は、相談者の（　I　）が守られるように十分配慮する。

⑤　継続支援が必要な者については、（　J　）及び必要に応じて関係機関と連携して実施する。

受検番号	

検査	学校種別	教科・科目	枚目
第1次	養護		4／5

評点

〔解答用紙〕

1
21

(1)	①	横規	②	尺柱			
	A	固定	B	水平	C	垂直	
	D	裸足	E	背	F	体側	
	G	顎					
(2)	①	コ	②	キ	③	ケ	
	④	カ	⑤	ア	⑥	エ	
(3)	①	体質	②	単純	③	症候	

2
11

感染症名	A	麻しん	B	風しん	C	咽頭結膜熱	
出席停止の期間	D	五(5)	E	二(2)	F	五(5)	
	G	一(1)	H	痂皮化	I	顎下	
	J	五(5)	K	全身の状態			

3
20

(1)	①	橈骨	②	末節骨	③	中節骨	
	④	基節骨	⑤	手根骨	⑥	尺骨	
(2)	①	(略)		(略)		(略)	
		(略)		(略)			
	②	A ○	B ×	C ○	D ×		

受検番号	

検　査	学校種別	教科・科目	枚　目
第1次	養　護		5／5

評　点

〔解答用紙〕

4
14

A	ス	B	ソ	C	ク
D	ケ	E	エ	F	セ
G	ツ				

5
24

(1)	①	ミュータンス	②	砂糖（ショ糖 米糖 ブドウ糖）	③	歯垢（プラーク）
	④	酸	⑥	エナメル	⑤	脱灰
	⑦	再石灰化				
(2)	①	歯冠	②	歯根	③	乾燥
	④	水	⑤	30	⑥	牛乳
(3)	計算式	(24＋130＋6)÷140				
	DMF歯数	1.14				

6
10

(1)	A	心身の健康	B	保護者	C	学校生活
	D	教育				
(2)	E	学校保健計画	F	随時	G	共通理解
	H	環境	I	プライバシー	J	校内組織